



TOTO

ウォシュレット® 施工説明書

washlet®

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

ウォシュレット本体

リモコン付の場合 リモコンなしの場合

いずれの製品も取付方法は同じです。
この施工説明書は、リモコン付の場合のイラストで説明しています。

同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

リモコン部品 (リモコン付のみ)

ハンガー

リモコン

乾電池 (単3形×2個)

ねじ (3本)

アンカープラグ (3本)

パッキン (2枚)

※分岐金具に付属しています。
(施工タイプにより1枚しか使用しない場合があります。)

印刷物

ベースプレート一式

※分解しないでください。

ボルト
固定板
ゴム
プッシュ

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例 ㊄してはいけない「禁止」の内容です。 ㊄必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- 浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
- 指定する電源 (交流100V) 以外では使用しない (火災や発熱の原因になります。)
- 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままでは使用しない (火災や感電の原因になります。)
- 飲用可能な水以外は使わない (故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
- コンセントは給水位置の真下に設置しない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 車輻・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)
- (便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)

㊄

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)

㊄

- 2Pプラグの場合
- アース (D種接地) を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
- 3Pプラグの場合
- 必ず接地コンセントに差し込む (変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)

注意 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない (水漏れの原因になります。)
- 止水栓を開けたまま給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)

㊄

- 施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
- 給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)

㊄

- ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む (「カチッ」と音がするまで押し込んだあと、軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。)
- 電池の+表示をよく確かめて入れる (電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
- 長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく (電池の液漏れの原因になります。)

取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒーターが入るため、故障の原因となります。
3. ホース類および分岐金具の先端接続部にキズを付けないようにしてください。
4. 交流100V (50/60Hz) の埋込アースターミナル付コンセント (3Pプラグの場合は、接地コンセント) を使用してください。
(電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体のラベルに記載しています。)
5. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
6. 電源コードの長さは約1mです。
コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
7. 給水圧力範囲は0.05MPa (流動時) ~0.75MPa (静止時) です。この圧力範囲でご使用ください。
8. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
9. 同梱以外の分岐金具、パッキンを使わないでください。
10. リモコン便器洗浄付の場合…必ずウォシュレット専用便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレット本体をセットしてください。※施工のしやすさ、キズ防止のため。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。
TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99
※仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

他社製便器に取り付ける場合		便座取付穴	品番
便座取付穴の深さと径が右表の場合は、同梱のベースプレート固定部材だけで施工しないでください。ウォシュレット本体のキズ防止のための専用部材をご購入ください。	深さ(mm)	径	TCA312
	36以下	Φ19~21	
	36~80	-	TCA310
70~110	(測定不要)		

給水ホースの長さ不足の場合		給水ホース長さ違い一覧表	
給水ホースの長さは約950mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。			
給水ホース長さ(mm)	品番		
1180	TCA344		
1480	TCA345		
1980	TCA346		

右給水の隅付タンクへ接続する場合
給水ホースの長さが足りません。別売品の中継金具 (品番:TCA58R) をご購入ください。

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合
別売品の分岐金具 (品番:TCA358) をご購入ください。

給水コンセントへ接続する場合
別売品のアダプタ (品番:TH778S) とふさぎナット (品番:TH651) をご購入ください。

取付方法

- 機種によっては製品の形状などが異なります。
- 分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

1 止水栓を閉める

2 ウォシュレット本体の取り付け

- ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。

① ベースプレートのボルト取付位置を調整する

便器のサイズ	ボルトの標準取付位置
約44cm (レギュラー)	一番前側に合わせる
約47cm (エロンゲート)	前側より5凹後ろの位置に合わせる

② 便器にベースプレートを仮固定する
●ベースプレートが動かなくなるまで、ボルトを締めてください。

③ ウォシュレット本体を取り付け、以下の確認を行う
●次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取付位置を調整してください。

- ウォシュレット本体を取りはずす

④ ボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける

⑤ ウォシュレット本体を取り付ける
※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

取り付けた状態でウォシュレット本体が着脱できないときは、適切な長さのホースをご購入ください。

(表紙(給水ホースの長さ不足の場合)参照)

長さ違いの給水ホースを取り付ける場合

① 給水ホースを取りはずす

ツメをはさず

② 給水ホースを取り付ける

注意 ※すき間なく、奥まで差し込む

ツメにはめる

3 分岐金具の接続

- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
- 給水ホースはタンクの後ろに収めてください。

新しいパッキンを必ず使用する

給水ホース

ロータンクのフレキシホース

止水栓

袋ナット

給水ホース先端の分岐金具

タンク側面から給水管(またはホース)が出ているタイプの場合

注意

タンクの真上から見たボールタップ

●止水不良の原因になります。

給水管が長い場合はパイプカッターで切断後、切粉を取り除いてください。

止水栓

給水ホース

給水ホース先端の分岐金具

パッキン

テーパーリング

パッキンガイド

パッキン

ワンピース便器へ接続する場合

給水ホース

給水ホース先端の分岐金具

止水栓

パッキン

ふさぎナット

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

●別売品の分岐金具(品番:TCA358)が必要

分岐金具(別売品)

止水栓

パッキン

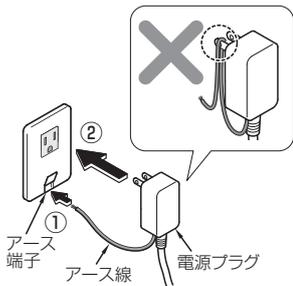
給水ホース先端の分岐金具

給水ホース

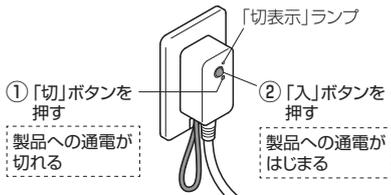
パッキン(ふさぎナットに付属)

ふさぎナット(別売品の分岐金具に同梱)

電源プラグ(アース線)の接続と確認

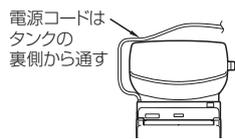


- ノズルがいったん出て戻ると、初期動作を行うか確認する
- 電源プラグの動作確認をする



「切表示」ランプが、
①で点灯、②で消灯すれば正常です。

コンセントが電源コードの反対側にある場合

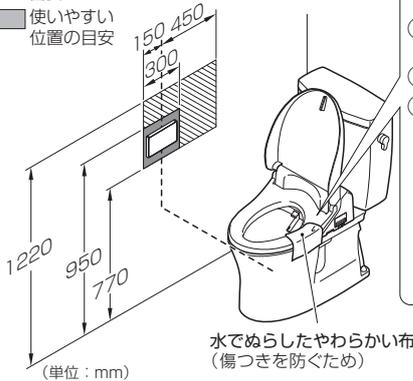


リモコンの取り付け(リモコン付の場合)

1 リモコンに乾電池を入れる

2 取付位置を決める

- 取付位置の目安
- 使いやすい位置の目安

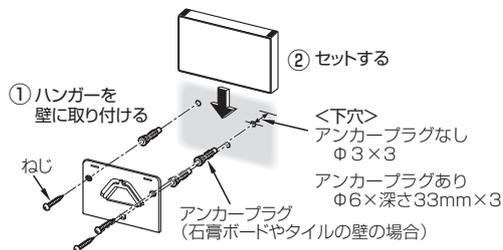


【作動の確認】

- ① 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる
- ② 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する
- ③ 「止」ボタンを押す
- ④ 作動しない場合
→ リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

- ※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
- 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
 - 天井や壁の色(黒っぽい場合)・形状・材質などの条件が合わないとき
 - 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
 - インバーター方式の照明下のとき

3 ハンガーの取り付け



試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

- 試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部またはウォシュレット本体操作部の「運転」ランプが点灯します。)

1 ウォシュレット本体の確認

- 手前に引っ張ったとき、ウォシュレット本体がはずれませんか
→ ウォシュレット本体を、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで押し込む
 - 以下に当てはまりませんか
 - 内側から便器のふちが見える*1
 - 先端が便器のふちより出すぎている*1
 - ノズル部分が、便器に干渉している
 - タンクにあたっている
- ※1 約44cm(レギュラーサイズ)の便器に設置した場合、調整できないことがあります。

- 同梱部品を使用していますか
ベースプレート
※従来のものと形状が異なるため、作動不良の原因になります。

2 機能の確認

- 止水栓を開ける
止水栓
- 水漏れチェック
→ 水漏れる場合
- 同梱部品を使用していますか
パッキン (施工タイプにより、一枚しか使用しない場合があります。)
※新しいものを使用しないと、水漏れの原因になります。

- 「運転」ランプが点灯していますか

ウォシュレット本体表示部



〈リモコン付の場合〉

ウォシュレット本体操作部

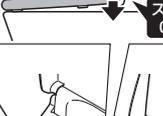


〈リモコンなしの場合〉

- ノズルから洗浄水が出ますか
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分かかります。)

- 【作動の確認】

- ② 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる



スイッチ ON!

3 紙コップ

- ④ リモコンまたはウォシュレット本体操作部の「おしり」ボタンを押す
- ⑤ 「止」ボタンを押す

① 水でぬらしたやわらかい布(傷つきを防ぐため)

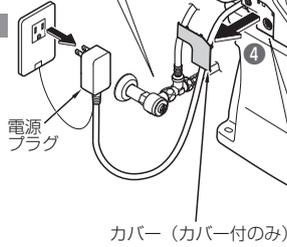
給水フィルター付水抜き栓の掃除（試運転後）

1

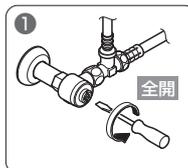


- 2 ノズルを伸出させる
※給水管内の圧抜きです。
1. 「ノズルそじ」ボタンを押し、ノズルを伸出させる
 2. もう一度「ノズルそじ」ボタンを押し、ノズルを戻す

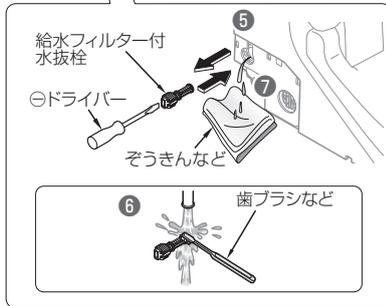
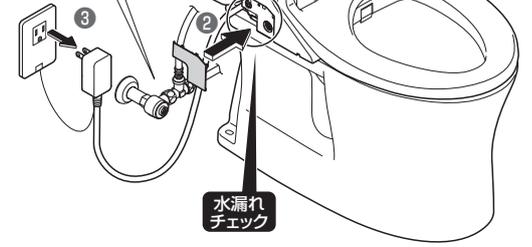
3 抜く



2



3



製品引き渡しまでの期間が長い場合

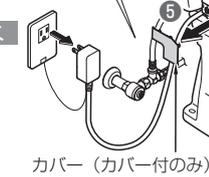
1



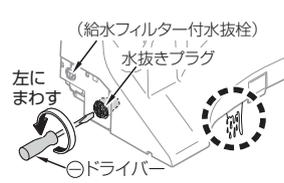
2 □-タンクの水をすべて流す

- 3 ノズルを伸出させる
※給水管内の圧抜きです。
給水フィルター付水抜き栓の掃除（試運転後）
① - ② 項参照)

4 抜く



3 水抜きプラグを空回りするまでゆるめる



- ノズル付近から水が出る（水がすべて抜けるまで約3分かかります。）
- ※ 水抜きプラグは取りはずしてできません。

水が出なくなるまで待つ

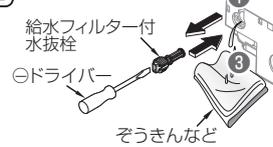
4

水抜きプラグをマイナスドライバーで確実に締め、カバー（カバー付のみ）を取り付ける



2

配管の水を抜く



給水ホース



■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水（封水）に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。（不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。）

施工業者様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しく下さい。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。